

「施工管理者のための
 圧送計画の第一歩」講習会掲載記事
 コンクリート新聞(6/15)

東海圧送LLP

工事計画テーマに講演

圧送業への理解求める



長谷川理事長



中田顧問理事

東海地区コンクリート圧送有限責任事業組合(東海圧送LLP、長谷川員典理事長)は10日、名古屋国際会議場でコンクリート圧送計画講習会を開いた。ゼネコン技術者向けで、中田善久顧問理事(日本大学教授)が生

などをテーマに講演した。下請け業者である専門工業者が元請となるゼネコン技術者を対象とした技術講習を行うのは全国で初めて。全国から300名が出席した。



講習会の冒頭にあいさつした長谷川理事長は東海圧送LLPの概要を説明したうえで「圧送技術、技能の向上、労災事故の防止、人材育成に力を入れている。しかし、現場に常駐しない圧送業は理解されにくい業種である。現場での段取りから一連の流れ、トラブル時の対応などを知っ

ていただくため技術講習会を開いた」とその意図を説明した。

講習では圧送計画の第一歩として「ポンプに使われるコンクリー

トの知識「安全な圧送計画のために」の2テーマを取り上げた。ポンプに使われるコンクリートの知識では生コンの基本からコンクリートの調査、品質変化などを解説。講義を行った中田顧問理事は「より良いコンクリート構造体を作るために

は、コンクリートの製造から仕上げまで一連の作業を円滑に行うことが重要なためコンクリートという材料を十分に理解していただくことが必要だ」と述べた。

安全な圧送計画ではポンプ工法の基本に加え、圧送計画や1日の打込み量の決定、圧送負荷の算定方法などを解説した。この講義の主眼について中田顧問理事は「建設現場で事故を起こさないために、施工管理者として知ってほしい圧送計画の要点や適切な圧送方法について解説する」と話した。